

## 小児ワクチン接種と花粉症

御殿場市の小児のコロナワクチンの集団接種が3月13日日曜日から始まりました。当日の玉穂会場では特に目立った副反応もなく、大騒ぎする子供たちも少なく、順調な滑り出しでした。

努力義務はないワクチン接種ですが、保護者のワクチンに対する信頼度は今のところ高いようで、集団接種の予約はほぼ満杯となっており、これに応じて医師会の先生方の出役も今後続くものと予想されます。諸先生方にとって休日返上のワクチン業務は大変な負担と思いますが、是非ご協力をお願いします。

一方、大人のワクチン接種率は順調に上がっていますが、その割に全国的に、感染の遷延化が続いています。デルタ株の時と違い、オミクロンにどれ程の感染予防効果があるのか、本当に重症化予防効果があるのかも疑問ですが、他に感染予防策がない以上今はワクチン接種を進めるしかないというのが実情です。

2月から花粉が飛散し、多くの患者が当院の外来に訪れています。去年に比し花粉の飛散量はかなり多いと予測されていましたが、今のところ患者数は例年並みといったところですが、花粉患者と発熱患者とワクチン接種者が入り乱れて外来に来られると、こちらのメンタルが持たないくらいのストレスに襲われ、体力がいつまで持つか不安でしたが、ここ数日の温かさで他の病気が少なくなったこともあり、午後になると平和な時間が過ごせるようになっていきます。蔓延防止機関期間も近く解除される予定ですが、感染が再燃しないことを祈るばかりです。